

## 方針を掲げて発信を！ シティプロモーション

飯島悠介 いひま ゆうすけ



**問** どのような目標を掲げてシティプロモーションを行っているか。

**答** 政策推進部次長 まず市を知ってもらうこと。そのためのブランドメッセージを策定したので、その認知度を上げていく。

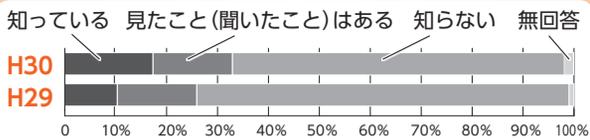
**問** これまでの3年間は内向きのプロモーションが中心。来年度以降の展開は。

**答** 外向きのプロモーションが基本。転入の多い自治体にポスター等で市をアピールすることを含めいろいろ研究して取り組む。

**問** 20代の市外流出が多い。社会増減の中身を分析して方針決定し、市民に伝えてほしい。

## ブランドメッセージ 『ほどよく絶妙とりで』認知度

(市民アンケート結果)



◆平成30年度は全体の約33%の人が「知っている」「見たこと(聞いたこと)はある」と回答し、前年度の約26%から増加した

**答** 最初のステップのプロモーションは一段落。次の段階の必要性は認識している。

**問** 毎年繰り返しPDCAを回し、子育て世代が魅力を感じるようにしてほしい。

**市長** 5歳刻みで人口増減を見ていくという丁寧な提案。加えて都市整備問題として立地適正化計画や中心市街地・桑原地区整備などで大きく取手を前進させた。ソフト事業もしっかり進めていく。

## 妊婦さんに安心を 陣痛タクシー

齋藤久代



**問** 陣痛が起きた際に近くに頼める親族がいない等、不安を抱える妊婦がいる。陣痛タクシーの取り組みを提案する。

**保健センター長** 市内のほとんどのタクシー会社では、深夜の時間帯を除き、陣痛が始まった妊婦の乗車の対応が可能。

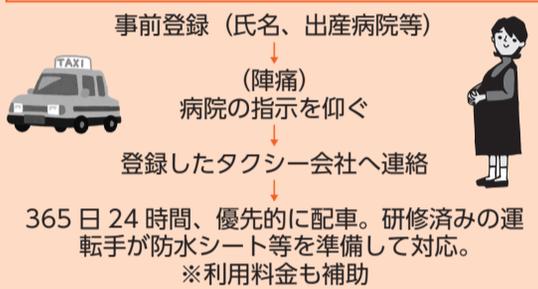
**問** その周知は。

**答** これまで相談があったときに知らせていたが、今後はホームページやプレマ教室での資料として配布していきたい。

**問** 救急対応はどうなっているか。

**消防長** 正常な分娩は法令上、救急事案に該当しないが、通報があった場合は、

## 陣痛タクシーとは (北海道砂川市の例)



搬送基準に関係なく出勤し、産婦人科への搬送をしている。

**【その他の質問】** 介護車への配慮・部活の外部コーチ・選挙投票率アップの取り組み

阿部洋子 あべ ようこ



**問** 双葉団地内の私道から市道への移管について、自治会から市長宛てに要望書を提出した。今後の見通しは。

**建設部長** 要綱に基づき、要件を確認し寄付を受け、議会の議決によって市道認定を行っている。

**問** 移管が困難な箇所は、所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法によって移管が進むと期待するが、どう考えるか。

**建設部次長** 今後、研究し

ていきたい。

**【その他の質問】** 緊急通報システム・動物施策・職員研修の在り方・マイナンバーカードを活用した地域活性化策

**※所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法**：土地所有者探索のため公的情報を行政機関が利用可能に。また、所有者不明土地の適切な管理のため、特に必要がある場合は市長等が財産管理人の選任等を請求可能に。

## 市民のために改革を 国民健康保険制度

小池悦子



**問** 国保財政に国や県の支援拡充を求めたい。

**健康増進部長** 平成30年度から県が保険者として運営に加わるという大改革があり、制度の安定化が図られた。従来の低所得者数に合わせた支援に加え、医療費適正化への取り組みに対する支援制度などが始まった。

**問** これまで積み上げた基金を、国保税の引き下げで還元すべき。

**国保年金課長** 国保の財政運営は不安定になるリスクが高い制度で、不測の事態に備えておくことや予防医療を推進していくことが重要。特定健診やがん検診の

費用を減額し、糖尿病性腎臓病重症化予防事業を行っている。

**問** 独自の減免制度拡大を。

**答** 今年度から高校生相当年齢以下を半額とした。市や県の決算も確定していない。数年は状況を見ていく。

**問** 国保税滞納者の実態把握のため臨戸訪問を。

**財政部長** 自主納税者との不公平感の強まりから23年度に廃止。病気や障がいなどで自力納付困難な方には状況確認しながら訪問している。

## 福祉、子育て 優先施策へ 加増充子

加増充子 かぞえう



**問** 平成29年度に公共施設等の値上げを実施。ゴミバス、入浴施設利用者が減少している現実の認識は。

**財政部長** 受益者負担の在り方の基本方針に基づいて見直した。行政サービスを継続して提供していくために必要。無料化や引き下げの考えはない。

**問** 大半の公民館でも利用者が減少。学習権を保障している公民館を無料に。

**教育部長** 公共施設の一つであるため応分の負担をしていただいております。平成22年度から有料化している。

**問** リーマンショック時の

## 受益者負担に基づき平成29年4月1日から料金改定を行った主な施設等

- ◆ゴミバス  
大人 100円⇒150円
- ◆グリーンスポーツセンタープール  
大人1回 300円⇒380円
- ◆入浴施設 (あけぼの、さくら荘、かたらいの郷)  
60歳以上1回 100円⇒200円
- ◆小堀の渡し  
中学生以上1回 100円⇒200円

など

対応でチャイルドシート購入補助や高齢者・障がい者のほり・きゆう、マッサージ助成などが廃止に。復活を。

**財政部長** 経験のない規模で税収が落ち込み、歳入に見合った財政構造へ転換を図った。従前の助成制度を復活する考えはない。

**財政課長** 31年度一般会計当初予算では民生費と教育費を合わせて5割超。福祉や教育など生活に直結するサービスに限りある財源を配分している。

**市長** 市はさまざまな健康施策を行い、健全財政へ努力している。高齢化の割に健康状態がよく、また介護認定率が他の自治体より良い。